

野田小学校の学校課題研究主題



粘り強く課題と向き合う児童が育つ学校

- 今までの学習を生かすことができる児童
- 課題の解決方法を探り、試行錯誤しながら努力できる児童
- 目標と現状とを比較して、改善できる児童



語彙に触れる



話す経験



学習を生活に生かす



暗唱チャレンジ



スピーチ



生活朝会



基礎基本の定着を図



基礎学力の向上



盛んな縦割り活動



2分間チャレンジ



漢字テスト



縦割り活動

単元名 「自分の成長をおうちの人に伝えよう」

教材名 「強く心に残ったことを」 (教育出版 3年下)

教材について

1年間の出来事の中で、心に残っていることを書くために、「参観日に保護者に向けて伝える」という学習課題を設定した。一番心に残った出来事とその理由を友達との交流を通して考え、表現できるようにしたい。

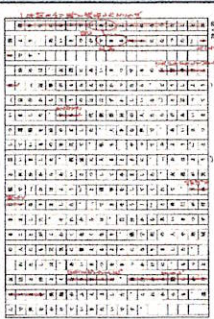
児童の実態

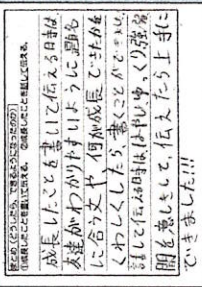
○「書くこと」では、「生き物ブックを作ろう」や「報告文を書こう」で、学習計画を子どもと考えた。情報を集めたり、構成を考えたりすると相手に伝わりやすくなることを学習してきた。

単元の目標

- 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。(2)ア
- 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。B(ウ)
- 話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。A(ウ)
- 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

時	学習活動	学習内容	手立て
1	モデルを読んで、ゴールイメージをもつ。 学習計画を立てる。	・学習課題の設定 	・モデルの活用 ・ゴールイメージの共有 ・学習意欲を高める学習課題 学習計画を一緒に立てる。
2	学習した内容を振り返る。 友達にインタビュー ・一番頑張ったことは？ ・できるようになったことは？ など		・資料の活用 ・伝えたい思いを高めるための話し合い ・ICTの活用 懇談会資料で記載した学習内容の提示 学習した単元名の提示

時	学習活動	学習内容	手立て					
3	伝えたいことを決める。 モデル文から、書き表し 方の工夫を見付ける。 推敲前と後と、 比べて違いを探す。	・相手意識・目的意識（ア） 	・自己決定の場 ・モデルの活用 大枠の構成は、こちら から提示した。					
4	情報メモに書き出す。 友達と情報メモを見なが ら質問し合い、気持ちや 様子をさらに詳しくする。	・自分の考えとそれを支える 理由や事例（2）ア 1番伝えたいことは？ ・どうして、できるようなったの？ ・コトは？その時の気持ちは？ ・できるようなった時の気持ちは？ など	・ワークシートの工夫 ・話し合いの視点の提示 ・考えを深める場の設定 ・語彙カードの提示					
5	おうちの人の願いに合う ように、内容を見直す。 下書きをする。	・書き表し方の工夫（ウ） おうちの人の思いに合うかな？ おうちに人は、様子をイメー ジできそうかな？	・メッセージカードの確認 4月に懇談会で保護者に 書いてもらったカード					
6	清書をする。							
7	友達と読み合い、「書く こと」の振り返りをする。 読むときの観点 (他己評価)	・共有 <table><tr><td>成長したことがわかる。↑</td></tr><tr><td>タイトルと内容が一致している。</td></tr><tr><td>具体的なエピソードを入れている。</td></tr><tr><td>接続詞の後に「」がある。</td></tr><tr><td>気持ちが書いてある。</td></tr></table>	成長したことがわかる。↑	タイトルと内容が一致している。	具体的なエピソードを入れている。	接続詞の後に「」がある。	気持ちが書いてある。	・学びを振り返る
成長したことがわかる。↑								
タイトルと内容が一致している。								
具体的なエピソードを入れている。								
接続詞の後に「」がある。								
気持ちが書いてある。								

時	学習活動	学習内容	手立て
8	言葉の抑揚や強弱、間 の取り方などを考える。	・言葉の抑揚や強弱、間の取 り方 A（ウ）	・スモールステップ ・音読記号の提示 ・学びを振り返る時間の設定
9	練習を行い、アドバイ スをし合う。	・話す場面を意識 A（ウ）	・見合う場の設定 ・自分の実力を知る場の設定 ・実際の場所でリハーサルを実践 ・ICTの活用
10	発表会を行う。（参観） 学習のまとめをする。		・自己評価、他己評価の場 ・おうちの人からメッセージカードをもらう。 懇談会で記入してもらい、 作品に貼って返却した。

成果 ● 課題

- 「情報の収集」では、1年間の学習内容をオクリンクや懇談会資料で見えて、友達と話す時間をたくさん設定したことで、一人ひとりの「成長したこと」を決めることができた。
- 「成長する（できるようになる）」までに、どのようなことをしたのか、どのようなことがあったのかなどを思い出す時間を設定し、友達と質問し合ったことで、より詳しく思い出し書き表すことができた。
- モデルから「気持ちを表す言葉」を入れると分かりやすいことを知り、見合いの観点の一つとしたことや「楽しい」「嬉しい」だけにならないように、語彙カードを提示したことで、使う言葉に変化が見られた。
- 情報メモを見直す際には、保護者からのメッセージカードを子どもへ渡したことで、より相手意識をもって取り組むことができた。
- 参観日までの時間が限られていたことから、大きな構成の枠は、こちらから提示した。構成を考える時間があれば、自分の思いを伝える話の順番を考えられたと思う。
- 保護者からのメッセージカードは、見直しやすい子もいれば、逆に悩んでしまう子もいるので、提示するタイミングを考える必要がある。

単元名 「読んだ人に 最も心に刻まれた瞬間が伝わる 卒業随筆を書こう」
教材名 「随筆を書こう」 (教育出版 6年下)

教材について

6年間の集大成として、経験したことの中から伝えたいことを明確にして「最も心に刻まれた瞬間」が伝わるように、文章の構成や展開、書き表し方を工夫して表現できるようにしたい。

児童の実態

- 「書くこと」が好きだと肯定的な回答児童は89%で、主な理由は「書くことが楽しい」「言葉を選ぶことが好きだから」と答えている。
- 事前アンケートにおいて、「文章の書きはじめ」と「文章のまとめかた」を知りたいと答えた児童が複数いた。

単元の目標

- 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。
- 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けられることができる。
- 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうする態度を養う。

学習活動		学習内容	手立て
1	卒業生の書いた卒業随筆を読む。 卒業随筆(モデル)	・学習課題の設定 ・モデルの活用 ・ゴールイメージの共有	モデルをもとに一緒に学習計画を立てる

学習計画を立てる。

学習活動		学習内容	手立て
2	6年間の小学生生活を振り返る。	お題カード 6年間で1番楽しかったこと 6年間で1番成長したこと 6年間で1番がんばったこと 6年間で1番緊張したこと 6年間で1番勇気を出したこと 6年間で1番がんばったこと	・2年間書きためた「1行日記」の活用 ・伝えたい思いを高めるための話し合い
3	題材を決める。	目的意識(A) 小学校生活で最も心に刻まれた瞬間 読んだ人に 最も心に刻まれた瞬間が伝わる卒業随筆を書こう	・自分と向き合う場の設定 ・ペアで質問する項目

4	モデルを分析して、	モデルの分析
5	「6年1組随筆の極意」を 書くときのポイント	6年1組が考えた随筆の極意

学習活動

学習内容

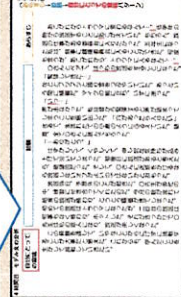
手立て

6 自分が伝えたいことに合わせ
て材料を集める。

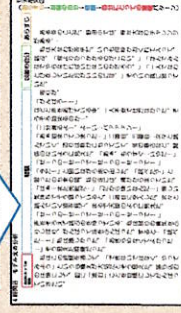
- ・相手や目的意識
(ア)
- ・集めた材料の分
類 (ア)
- ・構成の検 (イ)

- ・書くための観点の提示「6年1組随筆の極意」
- ・必要な語彙の提示
- ・モデルの活用
- ・分類する観点の提示「6年1組随筆の極意」

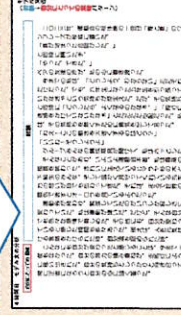
あらすじ→経験→自分にとっての意味



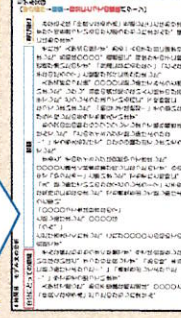
あらすじ→以前の自分→経験
→自分にとっての意味



経験→自分にとっての意味



呼び掛け→経験→自分にとっての意味



8 友だちと文章を読み合っ
て推敲をする。

- ・文や文章を整え
る (オ)

- ・読み合うための観点の提示「6年1組随筆の極意」
- ・必要な語彙の提示



学習活動

学習内容

手立て

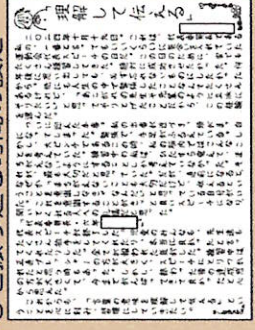
9 文章を見直し、下書きをする。

- ・語感や言葉の
使い方 (知オ)

- ・見直す観点の提示「6年1組随筆の極意」
- ・必要な語彙の提示

10 清書をする。

11 書いた作品を読み合う。

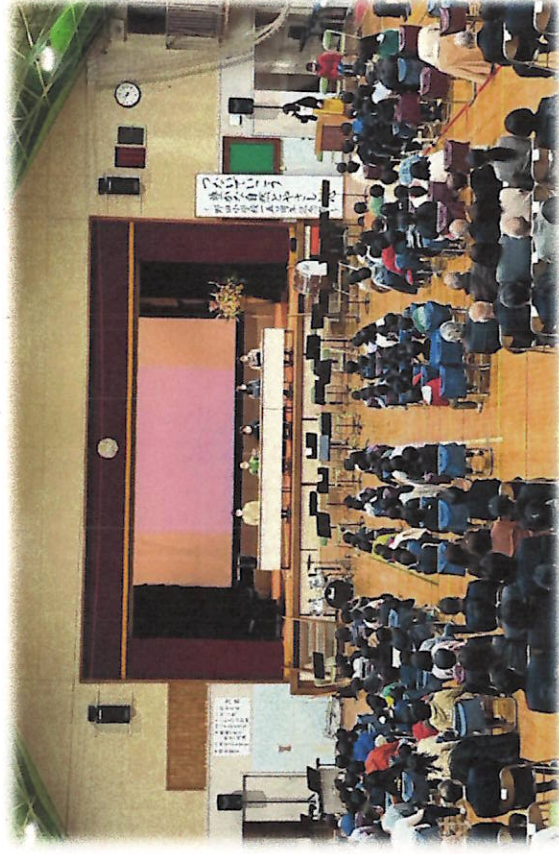


○成果 ●課題

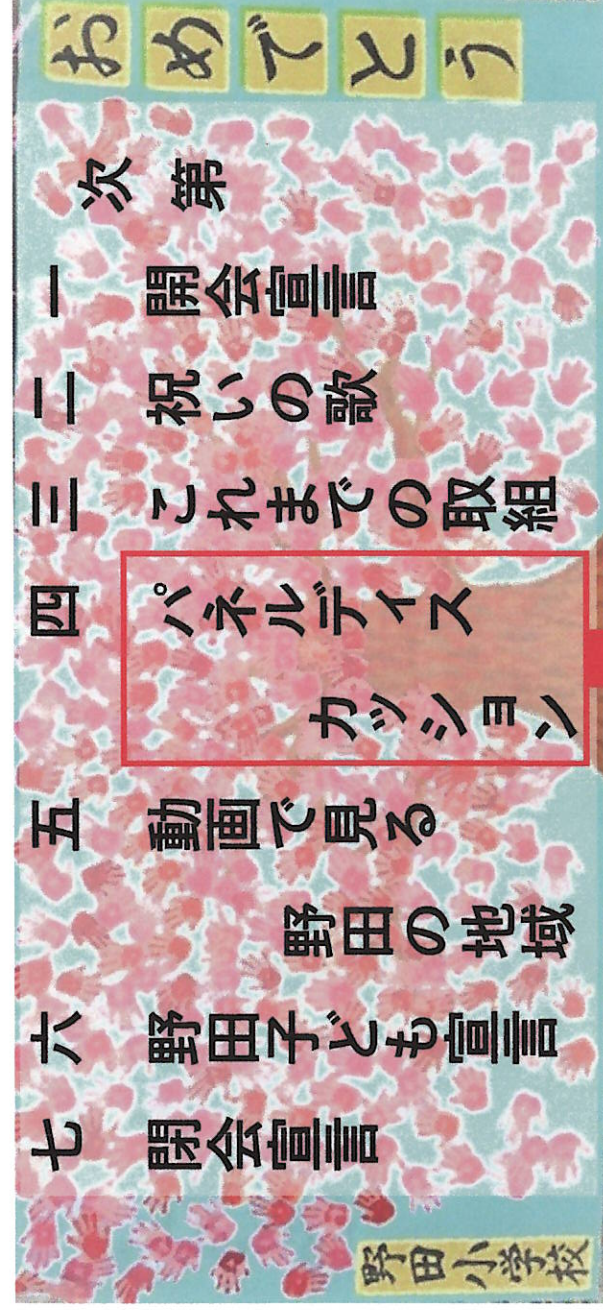
- 卒業生が書いた卒業随筆 (モデル) を読んだことによって、ゴールイメージをつかむことができた。
- 6年間の出来事をグループごとに話し合ったり、毎日書き溜めた1行日記やこれまでの写真の掲示を見たりして、一人ひとりが題材を多く集めることができた。
- 題材を決定する際には、「最も心に刻まれた瞬間なのか」をペアで質問し合い、自分で考える時間をとったことで、次時の材料集めでは短時間で行うことができた。
- モデルを分析したことで、材料を集める時の観点、読み合う時の観点にすることができた。
- 材料を集めるときには、経験、あらすじ、体験から学んだことを書く用短冊を色分けしたことで、どの書いたらよいのか、構成を変えたらよいのかを視覚的に捉えることができた。
- 「随筆を書く時の極意」と自分が書いた文章を見比べながら読むことが推敲の手がかりになっている児童もいた。
- 考えの形成に重点を置いて授業を進めたが、ある程度文章を書くことができていた児童にとっては、文章のよいところやアドバイスをもたえていなかった。

野田小学校150周年記念祭

～つないでいこう 豊かな自然とやさしい心～



実施日：令和5年3月4日（土） 会場：さいたま市立野田小学校体育館



テーマ：10年後に残したい野田の地域のよさ

司会	6 年 ()	6 年 ()	6 年 ()	6 年 ()
パネリスト	5 年 ()	5 年 ()	5 年 ()	5 年 ()
	6 年 ()	6 年 ()	6 年 ()	6 年 ()
	先 生 ()	先 生 ()	先 生 ()	先 生 ()
	保護者	保護者	保護者	保護者

※パネリスト援護メンバー数名
※パネリスト援護メンバー数名
※〇〇先生を中心に決定

2 資料をもとに主張を組み立てる。

周年記念祭でパネルディスカッションを行う

ペネリスト② 夏川
「家族と、災害に備えた準備」について話し合おうという立場から考えました。

題材を… 「十年後に残したい 野田地区のよさ」に ついて話し合おう

自分たちの住む地域で災害が発生しようか。さまざまな立場でパネルディスカッションをしましょう。

⑤ 話す・聞く 地域の防災について話し合おう

- ③ 立場を決めて、主張を明確にしよう
- ④ 地域の防災について話し合おう
- ⑥ パネルディスカッションをしましょう

令和4年度 5年生 国語 書くこと 話すこと・聞くこと

4月	5月	6月	7月	8月	9月
1 金 【話・聞】2時間 言葉で伝え合おう～連想ゲーム～ ＜題材＞	1 日 【書くこと】3時間 年間をかけて「5年生の情報ノートづくり」をしていこう ＜題材＞	1 水 【話・聞】2時間 話し言葉と書き言葉の特徴を知って、便利に使えるようにしよう ＜題材＞	1 金 【話・聞】6時間 「町じまん」をすいせんしよう ＜題材＞	1 月 【話・聞】2時間 本意図をもって話を聞き、考えたことをまとめよう ＜題材＞	1 木 【話・聞】2時間 本意図をもって話を聞き、考えたことをまとめよう ＜題材＞
2 土	2 月	2 木	2 土	2 火	2 金
3 日	3 火	3 水	3 木	3 水	3 土
4 月	4 水	4 木	4 金	4 木	4 日
5 火	5 木	5 金	5 土	5 金	5 月
6 水	6 金	6 月	6 水	6 土	6 火
7 木	7 土 【書くこと】1時間 漢字学習ノートを作って漢字の知識を広げよう ＜題材＞	7 火 【話・聞】4時間 「好きになっても、ぼくのこれ」～おすめの理由を伝えて友達にも好きになってもらおう～ ＜題材＞	7 木 【書くこと】2時間 敬語を正しく使えるようにしよう ＜題材＞	7 土	7 火
8 金	8 日	8 水	8 金	8 土	8 日
9 土	9 月	9 木	9 土	9 火	9 金
10 日	10 月	10 金	10 土	10 水	10 日
11 月	11 月	11 月	11 月	11 月	11 月

【書くこと】6時間
「町じまん」をすいせんしよう
↓
10年後に残したい野田地区の風景をすいせんしよう

【書くこと】4時間
俳句を作ろう
↓
【書くこと】4時間
俳句を作ろう
↓
【書くこと】4時間
俳句を作ろう
↓
野田小の1年を表す俳句を作ろう

令和5年4月6日（水）校内研修
「『書くこと、話すこと・聞くこと』の題材を考えよう

花いし美と起Vやかか



野田地区には、素敵な場所
がたくさんあることが…、
これからもたくさん
野田地区のいいところを
見つけてくださいね。



私が、10年後に残したいと考える野田地区の風景は「かがやく池と美しい花『さぎ山公園』」です。

さき山公園は、さぎのはんしよく地「野田のさき山」として国の特別天然記念物の指定を受けていた場所につくられた公園です。ここには、大きな池があり、釣りを楽しみ訪れるひとがたくさんいます。池をのぞくと、水面に自分の顔が映るので、すごく輝いている池だと思っています。

また、四季折々の美しい花が一面に咲いていて、来た人々たちを温かい気持ちにしてくれます。この野田地区の人たちにとって、なくてはならない場所だと思っています。

これらの理由から、「さぎ公園」を10年後に残したい風景として、みなさんに推薦します。

5年1組

川にそよぐ下エスカシムハの流れ

1 同位元素のトランプゲーム

○同知知世、親類を招きつゝのうたひ一丁の
酒席、ハナツクハ盛況なれば。

二 平定県上にある生薬

- ハネウスムは、自分たちのクルフトで話し合ったことを主張する。
- 主張の中心になることをみんなに知らせ、その後、具体的に説明していく。

三 参加者全員での話し合い

○「相手、もしくは同会者の指名に従って進めていく。」
○「ハネリストは、それぞれの立場から賛同点を父々々々から、質疑・応答し、考えを磨いたり、深めたりしていく。」

四 パネリストの意見発表

○同業者の場面に従つて、それぞれのハネリストが意見を発表する。ハネリストは、最初の主張に同意することなく意見交換をして、また意見を交換しながら発表する。

五 同位素による示差

○協議全体をまとめる。参加者全体の意見をまとめることが目的なので、一つの意見にまとめることもあれば、複数の意見を並列する場合がある。



…で合います。

【司会者が使いたい言葉】

司会の指示で発言してください。

〇〇さんの主張にだけ、詰
が集中しています。他の人
の主張について、意見はあ
りませんか。

意見が感情的になっていま
す。「野田地区のよさを残
すために私たちができるこ
と」に視点をしほり話し合
っています。その視点で、
意見を述べてください。

勝手に話をしたとせ

まだ、睡聞があります。
それぞれのパネリストの
主張について、意見はあ
りませんが。

りませんか。

質問や意見が
集中しているとき

〇〇さんの意見を教えてください。

「野田地区のよさを残すために私たちができること」について、意見を述べてください。



日本数学史学会

【発言者が使いたい言葉】

～することに賛成です。
〇〇さんが提案した遊び
の××××という遊びのよ
さを聞いてやる価値があ
ると考えました。

品は、〇〇〇のところが課金されると思います。学級目標に
く遊びにするために、×
くするのは、どうですか？

発言者の)○○さんは、
と言っていました。が、私
その意見が正しいのかと
か考えられています。

学級目標に近づくための遊び
としては、 $\times \times \times$ するところ
に課題があると思います。

～することはいいと
思いますが、×××
することは、むずか
しいと思います。

私も△△さんと同じで、
×××だと思っています。

遊びのやり方
の×××のど
ころが、分か
りづらいので
☆☆☆として
みては、どう
ですか。

学級目標に近づくためにクラス
でする遊びにするには、ならな
いと思います。理由は、×××
だからです。

学級目標に近づくための遊び
としては、 $\times \times \times$ するところ
に課題があると思います。

したがって、これらのことをやっ
ていけば、地球温暖化食い止めることができるのです。